

## 埼玉県職業能力開発調査【高等学校編】の概要

### 1 調査目的

第11次埼玉県職業能力開発計画を検討する際の基礎資料とするため、県内の高等学校に対して調査を実施した。

### 2 調査の内容

#### (1) 調査方法

郵送法（郵送送付、郵送回収）

#### (2) 調査対象

県内全ての高等学校（県立・市立・私立 ※全日制、定時制、通信制）

県立158校、市立6校、私立59校 合計223校 ※特別支援学校高等部を除く。

#### (3) 調査期間

令和2年7月10日～7月31日

#### (4) 調査項目

具体的な調査項目は別紙調査票のとおり

<質問のテーマ>

- 高校の進路指導における高等技術専門校の位置づけ
- 埼玉県の職業訓練に期待すること

### 3 回収状況

調査対象223校 回答数124校（回答率55.6%）

### 4 調査結果

別紙のとおり

## 令和2年度埼玉県職業能力開発調査【高等学校編】調査結果の概要

### ○回答校の属性

		対象校	回答校	回答率
県立	全日制	134	75	58.9%
	定時制	23	17	
	通信制	1	1	
市立	全日制	5	2	50.0%
	定時制	1	1	
私立	全日制	48	24	47.5%
	通信制	11	4	
合計		223	124	55.6%

#### 【まとめ】

- ・全体の回答率は55.6%  
(設置別では県立が回答率58.9%)  
(課程別では定時制が回答率75.0%)
- ・進学率8割以上の高校の47.6%が回答
- ・就職率3割未満の高校の60.5%が回答

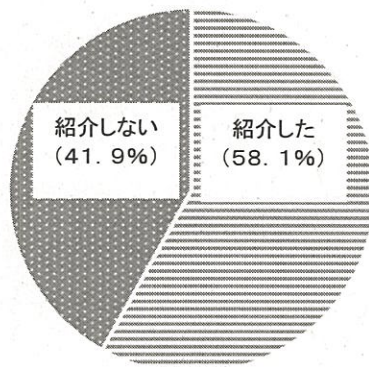
全日制	187	101	54.0%
定時制	24	18	75.0%
通信制	12	5	41.7%
合計	223	124	55.6%

進学率	回答校 (構成割合)	就職率	回答校 (構成割合)
8割以上	59(47.6%)	8割以上	2(1.6%)
5割以上 8割未満	29(23.4%)	5割以上 8割未満	22(17.7%)
3割以上 5割未満	22(17.7%)	3割以上 5割未満	25(20.2%)
3割未満	14(11.3%)	3割未満	75(60.5%)

### 問1 直近3年間の進路指導で生徒(卒業生含む)や保護者に高等技術専門校を紹介した割合

紹介した	72校(58.1%)
紹介しない	52校(41.9%)

#### 進路指導における高等技術専門校の紹介



※「進路指導で高等技術専門校を紹介した」高校(72校)の内訳

[課程別]

全日制 54校(75.0%)、定時制 14校(19.4%)、通信制 4校(5.6%)

[進学率別]

8割～ 19校(26.4%)、5割～8割 22校(30.6%)、3割～5割 20校(27.8%)、～3割 11校(15.2%)

[就職率別]

8割～ 2校(2.8%)、5割～8割 18校(25.0%)、3割～5割 22校(30.6%)、～3割 30校(41.6%)

【まとめ】

(1) 約6割の高校で「進路指導で高等技術専門校を紹介した」と回答した。

(2) 「高等技術専門校を紹介した」高校の属性は

(課程別) 全日制が75.0%、定時制が19.4%

(進学率別) 進学率5割以上8割未満の高校で30.6% ※進学率5割以上の高校で57.0%

(就職率別) 就職率3割未満の高校で41.6% ※就職率5割未満の高校で72.2%

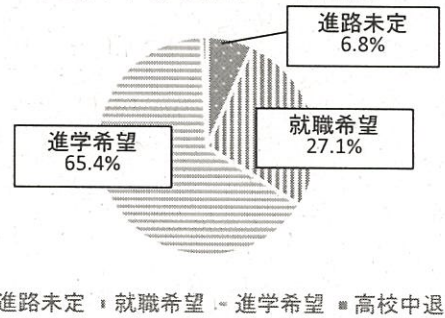
主に進学率が5割以上又は就職率が5割未満の高校で「高等技術専門校を紹介」している。

(4) 就職率が低いほど高技専を紹介する傾向があり、就職率も進学率もそれぞれが特別高くはない高校(例: 就職率40%、進学率40%)において主に高技専を紹介している。

問2-1 高等技術専門校を紹介した生徒(複数回答可)

	回答数	構成割合	
1進路未定者	9	6.8%	
2就職希望者	①無資格等で就職に不安	16	27.1%
	②採用試験で不採用	14	
	③その他	6	
3進学希望者	①高技専に近い工業系	40	65.4%
	②経済的に困窮	44	
	③その他	3	
4卒業生	①進学先を中退	0	0.0%
	②就職先を離職	0	
	③その他	0	
5高校中退者	1	0.7%	
6その他	0	0.0%	

高技専を紹介した生徒



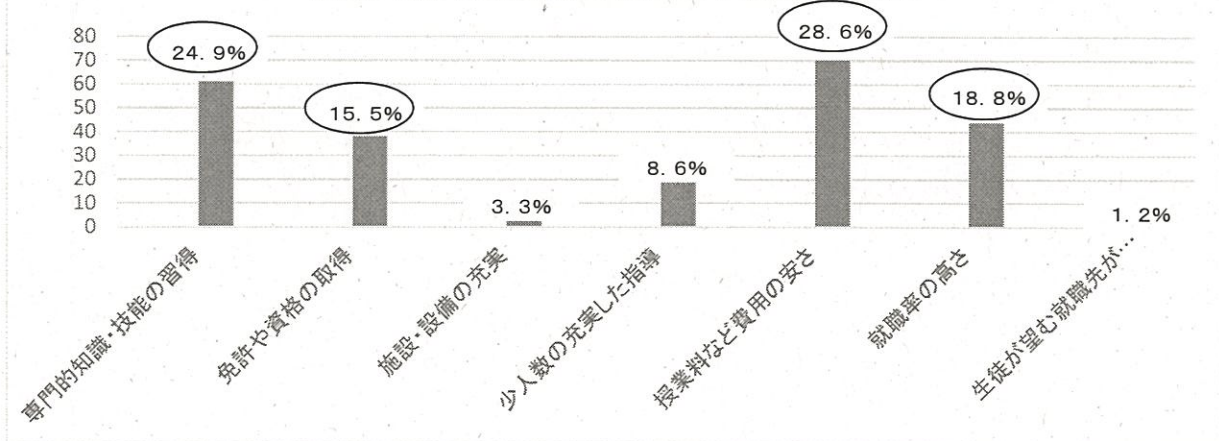
【まとめ】

進学希望が最も多く65.4%(そのうち最も多いのが経済的理由)、次が就職希望で27.1%となっている。卒業生に対する紹介はゼロ、高校中退者に対する紹介もほぼゼロに近い。

問2-2 生徒に説明した高等技術専門校のメリット(複数回答可)

	回答数	回答割合
1専門的知識・技能の習得	61	24.9%
2免許や資格の取得	38	15.5%
3施設・設備の充実	8	3.3%
4少人数の充実した指導	21	8.6%
5授業料など費用の安さ	70	28.6%
6新技術のカリキュラム	0	0.0%
7就職率の高さ	44	18.8%
8生徒が望む就職先がある	3	1.2%
9その他	0	0.0%
10メリットは説明してない	0	0.0%

生徒に説明した高等技術専門校のメリット



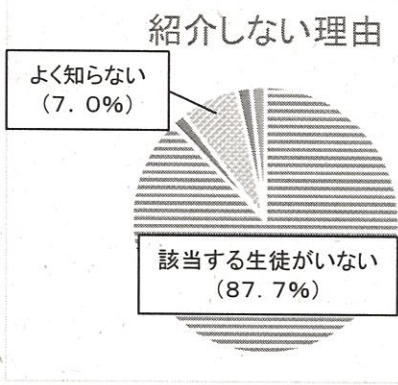
【まとめ】

生徒に説明したメリットの主なものは、「授業料など費用の安さ(28.6%)」「専門的知識・技能の習得(24.9%)」「就職率の高さ(18.8%)」「免許や資格の取得(15.5%)」である。

上記のメリットを含めて、「施設・設備の充実(3.3%)」「少人数の充実した指導(8.6%)」など、高技専のメリットはまだ十分に理解されているとは言えないため、効果的な周知が必要である。

### 問3 高等技術専門校を紹介したことがない理由(複数回答可)

	回答数	回答割合
1該当する生徒がいない	50	87.7%
2専門的知識・技能が習得できない	0	0.0%
3適切な指導が受けられない	0	0.0%
4施設・設備が充実していない	0	0.0%
5カリキュラムが古く時代にマッチしていない	0	0.0%
6遠方すぎて通校できない	1	1.8%
7必要な免許や資格の取得につながらない	0	0.0%
8就職に有利とは思えない	0	0.0%
9高等技術専門校をよく知らない	4	7.0%
10入校試験を嫌う生徒が多い	1	1.8%
11その他	1	1.8%



#### 【まとめ】

主な回答は「該当する生徒がいない(87.7%)」「高等技術専門校をよく知らない(7.0%)」である。「該当する生徒がいない」という回答は高技専を十分理解していないためそう判断している場合もあると推測される。したがって十分に理解を深めてもらう取り組みが重要である。

### 問4 埼玉県での職業訓練に期待すること(回答2つまで)

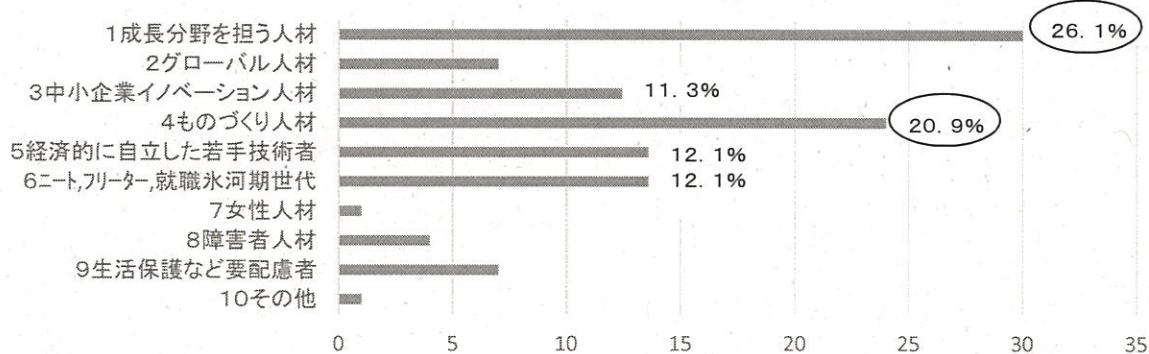
#### (1) 対象者

	回答数	回答割合
1成長分野を担う人材	30	26.1%
2グローバル人材	7	6.1%
3中小企業イノベーション人材	13	11.3%
4ものづくり人材	24	20.9%
5経済的に自立した若手技術者	14	12.1%
6ニート、フリーター、就職氷河期世代	14	12.1%
7女性人材	1	0.9%
8障害者人材	4	3.5%
9生活保護など要配慮者	7	6.1%
10その他	1	0.9%

#### (2) 内容

	回答数	回答割合
1受講しやすい場所での訓練	26	21.0%
2人気のある職種の訓練	17	13.7%
3技能検定や資格取得の支援	14	11.3%
4高校との一体的な就労支援	25	20.2%
5優秀人材の安定供給	37	29.8%
6その他	5	4.0%

#### 県の職業訓練に期待する「対象者」



#### 県の職業訓練に期待する「内容」



## 問5 県の職業訓練に対する意見・要望(自由記述)

### 【情報処理科】

- ・情報技術系の訓練科を増やして欲しい。(県立全日制)
- ・情報処理、IT関連の訓練科を設置希望。(県立全日制)

### 【その他訓練科】

- ・就職希望で職種未定の生徒に高技専を紹介。介護福祉の訓練科設置を希望。(県立全日制)
- ・医療系、介護系の訓練科設置(医療機関での実習を含む)を希望。(私立全日制)

### 【施設設備】

- ・新しい施設設備で校内に活気がある高技専を期待する。(県立全日制)

### 【資格取得】

- ・情報処理技術者資格取得できるようお願いしたい。(私立全日制)
- ・看護師などの医療系と介護福祉士など福祉系の資格取得支援を希望。(県立全日制)

### 【発達障害】

- ・発達障害の生徒への職業訓練をお願いしたい。(私立通信制)
- ・就職が困難な発達障害(疑いを含む)の生徒の就職支援を期待する。(県立全日制)

### 【場所】

- ・本校生徒の通学しやすい場所に高技専がないため勧められない。(県立全日制)

### 【高等技術専門校への評価が高い】

- ・確実に就職できる熊谷校の信頼は厚く「進路の手引き」に掲載。(県立全日制)
- ・自動車整備科には大変お世話になっている。(県立全日制)
- ・この授業料でしっかり技術を身に付けさせることは素晴らしい。(私立全日制)
- ・進学したいが経済的事情で就職する生徒へ高技専を紹介。今の高技専の教育内容が素晴らしいのでこれまでどおりお願いしたい。(県立全日制)
- ・現在の就職向け技術取得支援スタイルでよい。同じ市内に高技専があることは心強い。(県立全日制)

### 【高等技術専門校への評価が低い】

- ・認知度が低く、中卒・高校中退・離職者の受け皿というイメージが強い。

### 【提案等】

- ・様々な訓練科目を経験して途中で訓練科目を変更できる制度にしてはどうか。(県立全日制)
- ・定時制は経済困窮家庭や発達障害で一般就労が困難な者が多い。在学中から高技専への見学や体験学習を通じて連携を深め職業訓練と就職につなげたい。(県立定時制)
- ・社会構造の変化が激しくどのような技能を持つ人材が求められているのか分かりにくい。訓練生募集の際にはそのような情報も必要ではないか。(県立全日制)

### 【その他】

- ・就職か進学かに関係なく進路選択肢の1つとして大半の生徒に紹介している。(県立定時制)
- ・普通科の生徒は職業訓練の機会がないためぜひ高技専の拡充を。(県立全日制)
- ・入校資格の緩やかな高技専は外国籍生徒に紹介できる。(県立全日制)